

コアタイム：18日13：30－14：30 奇数番号 高校生発表  
 19日11：00－12：00 偶数番号

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。  
 ポスターは3月19日の12:00から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。

1. 草地生態・システム分析・緑地環境	
P01	斜面崩壊した野草地植生の回復過程における崩壊深度と地下器官の関係 ○岡本智伸1・長尾薫乃1・石田裕佳子1・大庭明莉1・天野真沙1・高木数馬1・岩本竜介1・沖村慎太郎1・高屋 寿1・櫻村 敦1・服部育男1 (1東海大農・2町古閑牧野組合)
P02	オグススキ圃場を対象とした空撮およびSfM条件の検討 ○牧島美夢1・吉村元博2・眞田康治2・二門 世3・高原美規1・秋山征夫2 (1長岡技科大院物生・2農研北海道・3道総研酪農試天北支場)
P03	阿蘇地域の半自然草地における周辺環境および草丈と野生小型哺乳類の生息密度の関係 ○櫻村 敦1・小田原諒汰1・笹原健吾1・稲永敏明1・松本大和1・久保和弘2・服部育男1・岡本智伸1 (1東海大農・2東海大熊本オフィス)
P04	エゾノギシギシ検出のための深層学習モデル開発における学習データセット統合の有用性 ○鎌田健人 (長岡技大生)
P05	放牧管理GISデータベースを利用した放牧牛生態に及ぼす植生および季節の影響評価 ○寺澤侑作1・板野志郎2・渡部雅人2・橋本 凌2・田中繁史2 (1新潟大院自然科学・2新潟大農)
P06	RTK-GNSS搭載UAV撮影による地上基準点を用いないトウモロコシ数値表層モデル取得の検討 ○二門 世 (道総研酪農試天北支場)
P07	放牧草地植生のネットワーク分析技術の開発 ○小幡証貴1・板野志郎2・小鮎林音2・小倉振一郎3 (1新潟大院自然科学・2新潟大農・3東北大院農)
2. 造成・管理・栽培	
P08	台風時における雌穂節上位部の稈切除が子実トウモロコシの倒伏に及ぼす影響 ○森田昌孝 (大分工業高専)
P09	ノイバラ類の切断片からの再生能力：裸地における評価 ○柿原秀俊・堤 道生・平野 清・渡辺也恭 (農研西日本)
P10	千葉県成田市における子実トウモロコシの多収実証事例 ○内野 宙1・阿部佳之1・住田憲俊1・野口 周2・赤松佑紀1・佐々木 梢1・須永義人1・大室健治2・菅野 勉3 (1農研畜産・2農研本部・3農研西日本)
P11	不耕起播種機を用いない飼料用ダイズ不耕起播種法の検討 ○荒巻卓郎1・石垣元気2 (1宮崎大院農・2宮崎大農住吉)
P12	飼料用トウモロコシ栽培における難防除雑草ガガイモのポット栽培による生育特性 ○足利和紀 (道総研畜試)
P13	北海道東部地域における追播および刈取管理がペレニアルライグラス導入草地の植生被度に及ぼす影響 ○秋山雄希1・田中常喜1・有田敬俊1・山田敏彦2 (1道総研酪農試・2北海道大)
P14	Assessment of agronomic traits potential and yield performance of Urochloa species in central of Thailand ○Pakanan Jiamtae・Pattama Nitthaisong (School of Agricultural Technology, KMITL Thailand)
P15	南九州地域における暖地型イネ科牧草と暖地型マメ科牧草の混播栽培における生産性の検討 ○飛佐 学・古賀拓音・尾北智和・井戸田幸子 (宮崎大農)

2. 造成・管理・栽培	
P16	北東北の積雪寒冷地におけるエリアンサスおよびオギススキの生育評価 ○松本武彦1・増田寛志1・頼 泰樹1・寺島義文2 (1秋田県立大・2国際農研)
P17	スーダングラスにおける早晩性が異なる品種の生育特性 ○高井智之・荒川 明 (農研九沖)
P18	荒廃オーチャードグラス草地にペレニアルライグラスを追播した後の1、2番草の栄養価に及ぼす土壌pH、2番草の刈取時期および追播機械の影響 ○東山雅一・的場和弘 (農研東北)
P19	荒廃オーチャードグラス草地にペレニアルライグラスを追播した後の利用2年間の乾物草量に及ぼす土壌pH、2番草の刈取時期および追播機械の影響 ○東山雅一・的場和弘 (農研東北)
P20	神奈川県三浦半島地域におけるダイコンと子実トウモロコシの二毛作の栽培方法の検討 若島亜希子1・喜多浩一郎1・竹本 稔2・○折原健太郎1 (1神奈川畜技セ・2神奈川農技セ)
P21	積算温度を用いた飼料用トウモロコシの品種選択および作業適期予測の可能性 ○安達美江子1・白川結美子1・佐藤智宏2 (1ホクレン・2サナテックシード)
3. 放牧・家畜管理・行動	
P22	ドローンと四足歩行ロボットによる牛追いに対する放牧牛の行動反応の違い ○岩谷綺玲佳1・田村佳音2・宮城帆乃佳2・宮本咲耶2・安在弘樹2 (1宮崎大院農・2宮崎大農)
P23	放牧牛の行動分布把握に向けた低コストGPSデータロガーの位置精度に及ぼす記録間隔の影響 ○花村克起1・中嶋紀寛2 (1農工大院農・2農工大FSセ)
4. 飼料調製加工・貯蔵・利用	
P24	ギ酸と乳酸菌・酵素混合製剤の併用添加が無予乾リードカナリーグラスサイレージの発酵品質に及ぼす影響 ○湊 啓子1・岸田美月1・角谷芳樹1・谷口大樹2・阿部健太郎2・壹岐修一2 (1道総研畜試・2雪印種苗)
6. 育種	
P25	遺伝子型×環境交互作用のマップ化の試み：フェストロリウム地域適応性検定試験を例に ○田中常喜1・田村健一2・秋山雄希1・山田敏彦3 (1道総研酪農試・2農研畜産・3北海道大)
P26	初期生育に優れ、越夏性を向上させたフェストロリウム 新品種「なつひかり」の育成 ○清 多佳子1・上山泰史1・上山泰史2・内山和宏1・田村健一1・岡部郁子1・江口研太郎3・山口貴史1・荒川 明4・笹谷孝英3 (1農研畜産・2種子協会・3農研本部・4農研九沖)
P27	ハイブリッドライグラス「東北11号HR」・「東北12号HR」の越夏性 ○藤森雅博1・清 多佳子2・内山和宏2・田村健一2・江口研太郎3・岡崎和之4・久保田明人4 (1農研北海道・2農研畜産・3農研本部・4農研東北)
P28	早晩性が異なるアカクローバ品種の追播利用における特性評価 ○佐藤広子・秋山征夫・眞田康治 (農研北海道)
P29	四倍体イタリアンライグラスとその近縁雑種の品種・系統におけるアレル頻度によるゲノミック予測精度 ○田村健一1・清 多佳子1・久保田明人2・荒川 明3・藤森雅博4・山口貴史1 (1農研畜産・2農研東北・3農研九沖・4農研北海道)
P30	牧草の葉の老化に伴うSGR遺伝子の発現およびクロロフィル分解とタンパク質含量との関係 ○瀬戸口碧希1・権藤崇裕2 (1宮崎大農・2宮崎大フロンティア)

7. 土壌・肥料	
P31	マンガンの施用が飼料用トウモロコシおよびチモシー単播草地の乾物収量および作物体中マンガン含量に及ぼす影響 ○北畠拓也（道総研酪農試）
P32	共生性ケカピ門の菌叢解析に用いる特異的プライマーの比較 原田峻介・○齋藤勝晴（信州大院総合理工）
8. 高校生発表	
P33	雑草vs雑草 ～雑草を利用し雑草を抑制する～ ○石丸美貴・野々下裕大・安村直樹・河原美那子（宮崎南高）
P34	根粒菌power～根粒菌から農業の発展へ～ ○藤代朋樹・岩切蒼空・川越寛人・河原美那子（宮崎南高）
P35	都城地域の夏播き飼料用トウモロコシの殺虫剤種子処理が、ツマジロクサヨトウの食害、生育および収量に及ぼす実態調査 谷口恭平1・永緑花琳1・松下空央1・今山 航1・○今山知道1・西村啓志1・黒木聖雄1・福重美帆1・大澤桜知夫1・福留賢次1・梅木一馬1・石井康之2（1都城農高畜産科・2宮崎大農）
P36	牛の乳房炎を予防する敷料を作る ○上松祐菜（宮崎大宮高文科情報科）
P37	夏播き栽培赤紫色スイートコーンの生育、収量、食味および粗飼料利用の南九州における地域適応性 ○前蘭啓太1・椎葉大珠1・山口颯馬1・兒玉政光1・西村拓也2・井戸田幸子2・西村幸次3・石井康之2（1宮崎農高・2宮崎大農・3JSeed, Inc.）
P38	トウモロコシtoモロコシ：加水分解を用いたモロコシのADF含量低下方法について ○亀井凌汰1・黒木滉介1・永野惺太1・濱田遥乃・松崎あすか1・三輪真咲1・甲斐吉樹1・鴨下顕彦2・石井康之3（1宮崎大宮高文科情報科・2東京大院農・3宮崎大農）
P39	十勝中央部における夏播き暖地型作物の飼料利用適性の検討 ○佐伯圭悟1・志村 凜1・篠原和樹1・中村嘉希1・羽藤陽向1・平山晴大1・松本沙希1・蓑島渉1・村上望斗1・川上あづさ2・澁谷 周3・今 啓人4・三浦颯太1（1帯広農高・2道農政部技術普及課・3雪印種苗・4道総研畜試）